

平成 30 年 1 月 11 日

## 神経内科・病理診断科・婦人科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

**研究課題名** 卵巣奇形腫患者さんにおける NMDA 受容体抗体脳炎発症頻度の検討と病態の評価

**研究機関** 市立札幌病院 (診療科名) 神経内科・病理診断科・産婦人科

**研究責任者** 診療科名：神経内科 / 実施責任者名：矢口裕章

### 研究の目的

近年、NMDA 受容体抗体脳炎が認知され、その原因の一つとして卵巣奇形腫が挙げられている。しかし、卵巣奇形腫患者さんに NMDA 受容体抗体脳炎が発症する頻度は報告されていない。卵巣奇形腫患者における NMDA 受容体抗体脳炎の頻度を検討する。

### 研究の方法

#### 1 対象となる患者さん

2008 年 1 月 1 日か 2016 年 12 月 31 日の間に NMDA 受容体抗体脳炎もしくは病理診断に至った卵巣奇形腫の患者さん。

#### 2 利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(病理診断結果、髄液検査結果、血液検査、画像検査、脳波検査結果)、治療経過等。

### 個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

**【お問い合わせ先】**

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目  
市立札幌病院神経内科